

令和6年度事務事業評価(事後評価)結果一覧表

必要性・効率性・公平性□		方向性の区分□						
・すべての項目に該当する場合は、「A」(見直し余地はない)								
・1つでも該当しない項目があれば、「B」(見直し余地がある)								
○必要性□	①町が実施することが妥当である ②施策(上位の目的)に有效地に結びついている ③社会・経済状況の変化に対応している□							
○効率性□	①最も適切な手法である□ ②運営方法は、経済性・効率性の向上が・られている□ ③施策を達成するために目的や対象を見直す必要はない ④コスト(職員数や・)に見合った活動状況である□ ⑤有利な財源を活用している□ ⑥他事業との重複や統廃合の余地はない□							
○公平性□	①行政サービスの対象に問題はない□ ②適正な受益者負担を求めている□							

令和6年度事務事業評価(事後評価)結果一覧表

必要性・効率性・公平性□		方向性の区分□
・すべての項目に該当する場合は、「A」(見直し余地はない)		
・1つでも該当しない項目があれば、「B」(見直し余地がある)		
○必要性□	①町が実施することが妥当である ②施策(上位の目的)に有効に結びついている ③社会・経済状況の変化に対応している□	
○効率性□	①最も適切な手法である□ ②運営方法は、経済性・効率性の向上が・られている□ ③施策を達成するために目的や対象を見直す必要はない ④コスト(職員数や・)に見合った活動状況である□ ⑤有利な財源を活用している□ ⑥他事業との重複や統廃合の余地はない□	
○公平性□	①行政サービスの対象に問題はない□ ②適正な受益者負担を求めている□	
拡大		事業目的の妥当性が認められ、一定の成果があがっており、今後も事業の拡大・重点化を図るべきもの
継続		事業の目的から見て成果が上がっており、又、事業の実施手法等も特に問題がないため、現状どおりの事業継続が妥当であるもの
見直し		事業実施手法の変更などにより、さらに成果の向上をめざすべきと判断されたもの(必要性・効率性・公平性で1つでも「B」があれば、方向性は「見直し」とする。「縮小」のための見直しは、「縮小」とする)
縮小		事業目的の妥当性は認められ、一定の成果は上がっているが、サービスの供給が過大になっており、適正化を図る必要がある場合か、事業の方向性としては良いが、コスト節減が必要なもの。
将来廃止		事業目的そのものの意義がかなり低下しているものや、事業目的から見て成果がほとんど上がっていないものなどで、事業の廃止が妥当であると判断されるもの(廃止年度を明確にする)
廃止		次年度より直ちに廃止すべきもの
完了		事業の実施目的や計画期間が明確であり、目的を達成したことに伴い、事業を終息させるもので、政策的な意思決定や判断の入る余地がほとんどないもの

No.	担当	事業別予算名称	事務事業名称	2次評価(政策調整会議)					見直しの具体的な方策 及び 指示事項	次回評価時期	備考	
				評価年度	必要性	効率性	公平性	方向性				
18	保健福祉課	子育て未来班	子育て支援センター事業費	ファミリーサポートセンター事業	R6	A	A	A	継続	地域での子育てを推進するため継続とし、事業内容を充実させていくため、特定財源の財源確保に努めること。	R9	
19	保健福祉課	地域包括支援センター	訪問型介護予防事業	訪問型介護予防事業	R6	A	A	A	継続	自立生活を支援するうえで必要な事業であり継続とする。 次回評価は行わない。	—	負担金及び補助金
20	保健福祉課	地域包括支援センター	通所型介護予防事業	通所型介護予防事業	R6	A	A	A	継続	介護予防事業として効果的な事業であり継続とする。 次回評価は行わない。	—	負担金及び補助金
21	保健福祉課	福祉対策班	社会福祉育成費	社会福祉事業 (町社会福祉協議会補助)	R6	A	B	A	見直し	社会福祉推進のため継続が必須な事業であるが、令和6年度現在、事務局長不在を解決する事が喫緊の課題となっていることから、町として出来ることは協力すること。	R9	
22	保健福祉課	福祉対策班	民生委員費	民生事業 (民生児童委員協議会補助)	R6	A	A	A	継続	地域の見守りや相談、支援、福祉活動のため、今後も活動支援のための補助を継続する。	R9	負担金及び補助金
23	保健福祉課	健康推進班	母子保健費	乳幼児歯科保健事業	R6	A	A	A	継続	就学時健康診査におけるむし歯の無い児童数は増加・改善傾向であり事業継続とするが、3歳から就学前期間の歯科検診実施について検討すること。	R9	
24	保健福祉課	健康推進班	健康増進費	慢性腎臓病(CKD)の発症・重症化予防事業	R6	A	A	A	継続	先進的に事業に取り組んだことにより、国保被保険者の透析者数は他自治体と比較し、少ない傾向にある。重症化予防のためにも事業を継続すること。	R9	
25	保健福祉課	高齢者支援班	介護人材確保事業	介護人材確保事業	R6	A	B	A	見直し	支援策は重要事項だが、実績が無いことから助成内容の見直しを検討すること。	R9	
26	農業振興課	農業振興班	私有林整備推進	上富良野町私有林整備推進事業	R6	A	A	A	拡大	引き続き森林所有者が行う町内私有林の整備を森林組合と連携し適切管理するとともに、森林所有者の負担が大きい下刈りや造林の施業補助促進のため事業の拡大を図ること。	R9	
27	農業振興課	農業振興班	林業担い手育成支援事業	上富良野町林業担い手育成支援事業	R6	A	A	A	継続	森林作業員の担い手確保のため、北海道北の森カレッジと連携するとともに、森林環境譲与税を活用した事業経営の維持、安定化を図るため事業継続とする。	R9	